



# 第170号

令和2年9月15日

発行所 一般社団法人 鳳陽会  
(山口大学経済学部同窓会)  
〒753-0089 山口市龜山町3-1  
TEL・FAX (083) 924-4361  
E-mail : houyou99@crocus.ocn.ne.jp  
印刷所 株式会社マルニ

—— 開学の祖「上田鳳陽」先生 (1769～1853) の教えを汲み ——



経済学部長

兵藤

隆(学37)

## 新常態へ向けて

### 経済学部のこれまでの取組

2019年12月、年の瀬も押し迫るころ中国武漢で感染症が拡大し、死者が多数出ているというニュースがテレビやインターネットのニュースで流れ、我々はそれを対岸の火事を眺めるように横目に見ながら、紅白歌合戦を鑑賞し、初詣へと出かけ、いつものように2020年を迎えました。この「いつものように」「あたりまえ」のことが「特別なもの」となることなど予想もしていませんでした。

2020年1月末に学期末を迎えた山口大学経済学部では、2月に後期末試験を終え、成績処理を急いでいるなかで、豪華客船ダイヤモンド・プリンセス号にてクラスターが発生しました。隔離がうまくいったのいかなかったのが話題となり連日ニュースを賑わしていました。国内でも死者がカウントされる事態になる頃には「なんだかやばいよね」という話が山口県

内でも口にされるようになり、山口大学では、まず、国際総合科学部をはじめとして多数の国外へ留学している学生たちを急遽期間途中で呼び戻すこととなりました。経済学部では3名ほどが中国などから呼び戻され、3月末までに全員無事に戻ってきました。帰国した学生たちは成田空港や関西国際空港近辺のホテルに2週間の隔離待機しなければならず、それらの費用(二十万円以上)を大学が負担することとなり、その後の予算編成を圧迫することとなりましたが、学生たちの安全には代えられませんでした。

経済学部が一番緊迫したのは、2月14日出発で1ヶ月の予定で短期留学に出かけた13名のフィリピン語学留学の学生たちのことでした。3月15日に帰国予定だったので、ある程度余裕を持って対応できると考えておりましたところ、フィリピン国内のCOVID-19感染拡大を受けて3月13日、ドゥテルテ大統領が突然「3月15日をもって最低1ヶ月間マニラ空港を閉鎖する。」と宣言しました。学

生たちの帰りの航空チケットは3月15日付、バコロド空港からマニラ、マニラ空港から福岡空港へのものだったので、そのままでは彼らが帰国できなくなることになりました。急遽14日にバコロドからセブ、セブから関西国際空港のチケットを山根先生を通じて手配し、帰国してもらうことになりました。そのまま15日付のチケットは紙きれになってしまい、14日付のチケットは新規に購入しなければなりません。予定外のことです。それから彼らに持ち合わせがなく、後援会費のうち「緊急対策費」を使うよう指示を出しました。おかげさまで全員無事予定より1日早く帰国することができたのはよかったです。いよいよ本格的な対策が必要だ。これは大変なことになるぞ」と感じました。

予想通り、そのまま大学68期の卒業式・卒業記念パーティーは中止となりました。せっかくの晴れ舞台がなくなってしまうことは大学人として初めての経験であり、卒業生にとっても保護者のみなさん、鳳陽会のみなさんにとっても悲し

い出来事でした。

当然ですが、4月になり新年度になっても事態は収まらず、そのまま入学式も中止となり、父兄懇談会をはじめ、フレッシュマンセミナー、新入生向けガイダンスなどすべての行事は中止となりました。新入生向けのガイダンスは録画によるオンデマンド方式に切り替えられました。当初は4月10日(金)から前期の講義がスタートする予定でしたが、部局長会議で4月13日(月)スタートと3日だけ授業開始日の繰り下げが決定しました。この時点ではまだ県内の感染者数が17名、すべて感染経路が判明しているということで、新入生の共通教育(大学教育センター管轄)は対面講義にてスタートを切りました。

「このような状況で対面授業をやるのか」という批判も当然でしたが、翌日、経路不明の感染者が出たというところで14日からは全面的にオンラインへと移行することにになります。

専門教育において対面講義は実施しないとの決定を早期に決断し、4月13日スタート時点からすべての講義をオンラインで実施しました。このことが可能になったのは、3月頭の部局長会議および教育研究評議会において、ZOOMの利用許可を特別に得ていたことにありました。これまでの山口大学の基本方針には、情報セキュリティ管理の観点から「外部サービスは利用してはいけない」という原則があり、どうしても特別に許可を得る必要があります。当初、外部サービスの利用には「セキュリティが不安だ」とか「そんなアプリケーションひとつでうまくいくのか？」などの疑問が投げられていましたが、「実験台となるからやらせてくれ」と国際総合科学部とともに懇願した結果、「じゃ、まあ、試しにやってみなさい」ということで特別に利用許可を得られたことが大きな推進力となりました。今から考えると冗談みたいなやりとりですが、当初は皆おっかなびっくりで工学部はオンライン講義に移行する準備期間が必要

ということと5月の連休明けスタート、他の学部は、実験や実習があるからと少人数の講義については対面で実施、残りはオンデマンド(ビデオ録画)で対応という形になったことを考えると4月時点で擬似対面講義ができたことは結果として前期を大きなトラブルなくなんとか無事に終えることができた大きな要因になったと考えています。

次の問題は学部内の教員への対応です。オンラインでの教育には、学内の修学支援システムを使った課題提出、オンデマンド(ビデオ録画)を各自都合のいい時間帯に視聴してもらいながら課題を課す方法、そして、授業時間と同じ時間帯にZOOMなどを利用してオンラインで遠隔講義をやる方法と大きく三つの選択肢がありました。準備期間が全く設けられませんでしたから、3月末にFD(Faculty Development)講習を2時間だけ行い、いずれの方法でもいいので、「4月13日からの第1週をまず乗り切ってくれ」、「最終的には4月いっぱいなんとかしのいで

くれ」というお願いをしました。この期間にたくさん失敗や問題点が洗い出されるだろうと予想したからです。5月の連休で学生たちが実家へ帰省など移動をすれば、連休明けにはおそらく講義どころではなくなるだろうと考えていたこともありません。まずは、2週間をなんとか乗り切れれば、講義を実施したという実績をもつて最悪卒業生だけでも単位がだせるだろうとも考えていました。4月13日〜17日までの平日の間、どのような講義を実施したのかを経済学部の全教員にアンケートし、問題点を指摘してもらいました。結果、50・7%がZOOMなど疑似対面型、19%がオンデマンド(ビデオ録画)型、27・5%がメールによる課題提出型、休講はわずかに28%でした。通信環境により音声がか途切れるとか、機器の不具合など細かい問題は指摘されま

したが、「思ったより対応がで



きる」という反応が多く、その後、200名以上の受講生を担当する教員に限定していたZOOM有料アカウントを徐々に拡大し、7月には全教員に有料アカウントを配布しました。学生たちからも「(4月時点で)多くの大学が休校措置をとるなか講義が普通にやってもらえるだけでもありがたい」とか「外出が不安なのでオンラインで対応してもらえるのはうれしい」など好意的な反応が多かったのも驚きでした。



ただし、新入生にとっては夢に見た大学生活がまったく違ったものになってしまったことにより、2年生以上とは異なる不安や苦情が相次ぎました。サークル活動がないこともあって「友達ができない」とか「情報が少ないので授業のとり方もわからない」とか「不安なので実家に帰りたいけど移動が制限されている」とか、父兄からも「なんとか通学できるような環境にならないのか」とか「これでは大学に入学した意味がない」など厳しいご意見もたくさんいただきました。ソーシャルディスタンスを維持した状態で講義を行うとなると、圧倒的に教室数が足りません。また、経済学部には1500名の学生が在籍し、その半数が通学したと想定しても800名近く、時間ごとに教室が総入れ替えとなって、学部内を移動します。もちろん、毎休み時間に消毒をする時間もありますし、なにより消毒液が手に入らない状

現在の大学の様子 (学生食堂ボーノ)



態です。マスクも不足し、全員に着用を強制できません。なんとか大学生らしい生活をと思案を巡らせるものの、「学生の安全が第一」というスタンスから対面講義を実施することはできませんでした。

そのうち、5月連休も過ぎ、「学内感染の拡大により」講義どころではなくなるだろう」という私の杞憂は完全に空振りに終わり、そのままオンラインでの講義が淡々と進められることになりました。事故もなく、山口県内の感染者数も落ち着いてきたということ、6月からようやく1年生の基礎セミナーだけに限定して、2週間に1回の対面講義を許可しました。それでも、実際に対面講義を実施したセミナークラスは全体の半分ほどで、一部寄せられた「一日も早く対面

授業の再開を」という意見とは異なり、我々の想像以上に「感染が怖い」と考える1年生が多かったということになります。いつ講義が中止になってもいいように、そして、学生の県内外への移動をできるだけ減らすようにということ、5月の連休も7月の連休も講義を実施しました。その結果、最終的には7月末をもって予定よりも早く15週間の講義日程を終えることができました。これはなによりも、学生たちが「オンラインでも講義があるだけありがたい」と考えてくれて協力してくれた結果であり、学部教員も一体となって苦難を乗り越えようという気概をもつて対応してくれたことにより、小職が学部長になってから、これほど学部の学生・教員・職員が頼もしく感じたことがない4ヶ月でした。災い転じて

福となすといいますが、新常态（ニューノーマル）に向けての第一歩をきちんと踏み出すことができたと確信しています。

ただ、課題も残されました。まずは成績評価です。対面の定期試験が実施できなかった結果、レポートの剽窃らしき実態など問題が出てきています。

また、TOEICや簿記など卒業要件に絡む外部試験の中止をどのように補っていくのか、さらには後期の授業をどのような形態で行えばいいのかなど問題は山積しています。現時点では精一杯やってなんとか前期が終わったというだけで、後期には大事な入試も控えています。これから前期で浮き彫りになった問題点を整理して、新常态（ニューノーマル）をノーマルにする過程を検証していかなければなりません。大きな仕事になると考えています。

母校・山口大学経済学部の新常态（ニューノーマル）へ向けて、鳳陽会のみなさまには学生たちのために引き続きご支援をいただきます。

## 令和2年度「第90回通常総会」報告

令和2年6月6日(土)午後1時43分から、山口市亀山町の「鳳陽館」において、一般社団法人鳳陽会の第90回通常総会を開催し、下記のとおり審議・報告を行い、午後3時07分に終了しました。

なお、今回の通常総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、規模を大幅に縮小して、会員の皆様には書面による議決権の行使をお願いして開催しましたが、お陰をもちまして無事終えることができました。改めて会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

### 記

#### 【決議事項】

- 1 第1号議案 令和元年度決算  
事務局から令和元年度決算を報告し、原案どおり承認された。
- 2 第2号議案 役員を選任  
事務局から任期満了に伴う役員を選任について提案後、原案どおり承認され、理事一人が交代した。  
なお、通常総会終了後、一般社団・財団法人法第96条の規定に基づく理事会非開催

による決議（みなし決議）により、吉岡博美理事を理事長に、石畠克幸理事を常務理事（事務局長）に再び選定した。

#### □ 理事

氏名	卒期	所属支部	備考	氏名	卒期	所属支部	備考
吉岡 博美	学18	東京	重任	久芳 博安	学19	山口	重任
松永 昭博	学21	東京	重任	石畠 克幸	学26	山口	重任
塩塚 保	学23	東京	新任	爲近美由紀	学24	宇部	重任
羽根 彰	学29	大阪	重任	日高 義隆	学21	北九州	重任
山下 秀雄	学26	広島	重任	鬼木 和夫	学17	福岡	重任

#### □ 監事

氏名	卒期	所属支部	備考	氏名	卒期	所属支部	備考
西田 正人	学20	宇部	重任	森 敏明	学23	山口	重任

#### 【報告事項】

- 事務局から次の各事項について報告を行った。
- 1 令和元年度事業報告
  - 2 令和元年度公益目的支出計画実施報告
  - 3 令和2年度事業計画及び収支予算

# 学園だより

## Zoomを活用したオンライン授業

経済学部特命教授

山根和明(学15)

突然のコロナ禍で対面授業ができなくなってしまう、学生たちに大変人気のある留學生の参加する『英会話』授業もできなくなりました。

「まいったーと一時はがっかりしていましたが、兵藤学部長にZoomオンライン授業の指導を受け次第に活用できるようになってきました。」

最初の45分は学生たちに与えて

- ①発音を良くするためにネイティブのスピーチをとにかく真似させる暗唱文
- ②日本の季節ごとの催しの英語による説明文
- ③留學生への英語による質問文
- ④実際の会話に必要な表現集

をバンバン当てて言わせることにしています。

いつもの対面授業でしたら2人1組で行うスタイルでしたが、オンラインではこれができないので困った

な、と思っていたのですが、Zoomでは画面に学生たちの顔が全部出ますので、彼らも必死に覚えて来てくれて、私が質問してもほとんどん答えてくれ、結果としてかなり効果的な45分になっているのです。

続いてブレイクルームというシステムを使って学生たち3名に留學生1名で4人グループを合計9つ作り、それぞれに別個に会話をさせることができるようになりました。これだと対面の授業とほとんど変わる事なく学生たちは少人数で英語でのコミュニケーションが可能となります。このグループを10分毎に留學生だけ順繰りに変わってもらうので、学生たちは毎回3名の留學生と会話できるわけです。同世代の若者達ですから、すぐ打ち解けて、間違うことを恐れず、積極的に会話していきます。この状況を見ておきますと私たち教員が上から下へと教えていく授業は会話授業では効果が薄いと私は思いま

す。学生たちへ効果的な資料を与え、彼らが自分たちで求めて行く、アクティブラーニングこそ英会話授業には必須だと感じています。このような革新的なことができるのも、留學生に授業を手伝ってもらうに当たり、『鳳陽会』にご支援いただいているからこそです。ありがとうございます。私も力の限り母校の発展に寄与して参ります。



オンライン授業の様子

### 英会話授業の感想

・授業の前半は暗唱が多く少し大変に感じましたが、留學生と話するための土台になったと感じます。教科書英語ではなく、楽しく会話するための英語の暗唱で、英語の表現も時代と共に変わっていくことが体感出来ました。(2年 椎葉 舞)

・一年前にフィリピンに留学した時に、日本のことを聞かれても上手く説明できなかった苦い思い出があります。今回、日本歳時記の暗唱で、日本のことを英語で説明する練習ができてよかったです。歳時記と併せて行った海外ボランティアの暗唱では、流れや繋がってほぼ聞こえない音などを意識して練習しました。最後のテストでは、説得力のある暗唱だと先生に言っていたいただいたのがとても嬉しかったです。(2年 石丸桃子)

・オンラインでもここまで英会話ができるのだなと思いました。特にブレイクアウトルームの活用がすごく

よかったですと感じています。また、留學生の存在もありがたかったです。ネイティブの方との会話は委縮してしまいがちですが、自分のつたない英語でも汲み取ってくれ、会話そのものを楽しむことができました。「これでも伝わるのだ」と実感でき、委縮することがなくなりました。(2年 海本 滉一)

・授業全体の感想はとても良いものでした。オンラインではありましたが、留學生との交流も楽しく、知識も得ることができました。日本歳時記の暗唱は、日本の事・物の説明や表現力を学ぶことができました。対面授業に戻ったら、もっとたくさんの方を教えることができたいです。(2年 川本 光毅)

・初めてのZoomでの授業だったので、解説や問題が聞き取れるか不安でしたが、問題なく聞き取ることができました。私は暗唱が苦手ですが、先生が毎回正しい発音を教えてください、暗唱の内容も覚え易かったので苦手克服に繋がりました。(2年 山口 香純)

・遠隔での授業ではありましたが、オンラインでの暗唱の発表や留學生との会話は、良い意味で緊張感のあるものでした。留學生との会話は、すでに習っているはずの文法や単語もいざ会話となると思い浮かべず、英語でのコミュニケーション能力がこんなにも低いのかと痛感し、もつと話せるようにならなければいけないと思いました。(2年 岸本 朋也)

・この授業は、生徒参加型の授業だったので、より集中して取り組むことができました。また、留學生とも会話をする機会をもうけてくれたので、楽しく授業を受けることができました。私はスーパードアールバイトをしています、以前は話

しかけられてもなかなか受け答えが出来ませんでした。最近では自ら声をかけることができるようになり、日常生活の中で成長を実感しました。(2年 八木 蒼佑)

## 山口大学同窓生の皆さんの山口県への U・Iターンのお手伝いを始めます

(有)山口ティール・エル・オー代表取締役  
山口大学名誉教授  
前国際連携担当副学長

三浦 房 紀  
(工学部土木工学科49年卒)

鳳陽会会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス対応で、厳しい毎日をお送りのことと存じます。今は第2波が全国に広がっているようです。この会報が皆さんのお手元に届くころには、少しでも状況が良い方向へ向かっていることを願っています。

最初に簡単に自己紹介させていただきます。私は山口大学工学部土木工学科を昭和49年に卒業し、京都大学大学院を修了後、同大学防災研究所の助手を務め、昭和58年に工学部の助教授として母校に戻ってきました。以来ずっと母校で教育、研究を行ってきました。工学部長、国際連携担当副学長を務めさせていただきました。この3月副学長の任期を満了、現在は山口大学の知的財産を社会へ移転する「山口ティール・エル・オー(以下山口TLO)」の代表取締

役を務めています。併せて本学の大学研究推進機構の教授(研究)として、山口県産業技術センターに昨年7月に設置された「宇宙データ利用推進センター」のプロジェクト・ディレクター

を兼任、衛星データの防災への利用、さらには衛星データを使った新しい事業を山口県内に起こすためのプロジェクトの支援を行っています。

具体的には、山口県に宇宙ソフト産業を興そうという県のビジョン「Space Hill構想」のもとに、大学や宇宙航空研究開発機構(以下JAXA)、衛星データに関連する研究開発機関、山口県をはじめとする行政機関、および地元企業の間を取り持つ仕事です。国や県の支援を受けて、すでに県内で10個近いプロジェクトが進んでいます。これらを何とか成功させたいと

思っています。JAXAの地球観測衛星データを山口県へ、と言いつ出した責任もあり(地方創生の神風が吹き、多くの皆さんの協力があって、まさかと思っていたことが実現しました。一番驚いているのは、言い出した私かもしれません)、これにもしっかりと取り組んでいます。

さて、簡単に山口TLOの紹介をさせていただきます。

山口TLOは平成11年に、文部科学省、経済産業省の承認TLOとして、中国、四国、九州地域では最初に、また国立大学で5番目にスタートしました。その中心となる業務は山口大学で生み出された特許などの知的財産を広く社会に移転することですが、それにとどまらず大学をはじめとする研究者と産業界を結び付ける産学連携、さらには行政機関との連携にも力を入れており、産学公(山口県では、広中平祐元山口大学長の提言で「官」ではなくより広い意味を持たせて「公」と言っています)のリエゾン活動も行っています。最近では大学と連携して特

許の無料開放や、研究ノートの開発、知財教育の推進など、ユニークな取り組みも行っています。山口TLOの詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.tlo.sangaku.yamaguchi-u.ac.jp/>

さて、わが国でTLOが産声を上げて約20年経過し、TLOを取り巻く状況は大きく変化しています。特に地方の大学発TLOは

統廃合や廃業したところもたくさんあります。幸い、山口TLOは会員企業、山口大学の協力と支援、そして何よりも教員の皆さんの優れた研究成果が特許や有体物となって、今のところ安定した経営を行っています。しかしながら特許はいずれその有効期限が切れますので、いつまでも安泰ということにはなりません。引き続き企業のニーズにこたえる研究成果、すなわちシーズを発掘し、育てることが不可欠です。

かと思つています。実際、活発な地方大学のTLOは様々な事業に取り組みんでいます。

先に宇宙ソフト産業のことを述べましたが、これを進める中で、きつと多くの知的財産が生まれてくると思います。さらには山口県に優秀な人材が必要になります。これは宇宙産業に限ったことではなく、山口県の産業全体に言えることです。

国際連携担当副学長の最初の2年間は地域連携担当副学長も兼務しました。その間、地域未来創生センターの創設、文部科学省の事業である、「やまぐち未来創生人材育成・定着促進事業、『地(知)の拠点大学』による地方創生推進事業(COC+)」の立ち上げにも関わりました。このCOC+は、県内高等教育機関の卒業生の県内事業所への就職率を高めようという事業で、その間、多くの県内企業の方とお話をする機会がありました。そしていかに多くの県内企業が人材を強く求めておられるか、ということを実感しました。そこで今準備をしています。

すの、山口県内へのU・I・ターンの斡旋事業です。U・I・ターンの事業の斡旋は山口県(やまぐち産業振興財団<http://www.ymg-sz.jp/cms/>、山口しごとセンター<https://joby.jp/>)も行っています。県はその対象者に何ら制限はありませんが、山口TLOのU・I・ターンの事業は山口大学出身者を中心に、と思つています。

既に職業紹介事業責任者の資格認定を取り、次年度から事業を開始する予定です。県や大学との協力体制を現在進めています。今回の新型コロナウイルス問題や、私の専門である防災の見地からも、東京一極集中は極めて危険で(首都直下地震の発生も近い将来に迫っています)、災害の危険性の低い山口県に優秀な人材や様々な機能を分散させることは日本の危機管理のために必要不可欠と思つています。

次の会報にはぜひ事業内容をご紹介したいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

「鳳陽会」は、皆様方の年会費を基本にして運営しています。

## 山口大学発スタートアップ企業を育成・支援

～山口フィナンシャルグループ投資ファンド「Fun Fun Drive」が総額3億円を支援～

対象：学生・教職員・卒業生

山口大学と山口フィナンシャルグループ(YMFG)は、地域における新たな産業基盤の創出と知の集積を図ることを目的として、山口大学発スタートアップ企業を育成・支援する取組みを共同で実施しています。

YMFGは、山口大学の学生・教職員・卒業生を主な投資対象として設立した投資ファンド「Fun Fun Drive 投資事業有限責任組合<sup>(注)</sup>」により、山口大学発ベンチャーを始めとする地域のスタートアップ企業へのリスクマネー供給を促進し、山口大学において行う本取組みに関する支援や運営を連携して行います。今年の5月には第一号案件へ投資を実行しました。

山口大学は、「スタートアップイベント」や「起業関係教育プログラム」の実施により、起業マインドの醸成を支援するとともに「ベンチャー起業支援室」を学内に設置し、学生・教職員・卒業生の起業家を支援します。

ファンド総額：3億円 1社あたり最大3千万円を投資

県外にお住いの卒業生も支援対象です。本事業に興味をお持ちの方、起業をお考えの方はベンチャー起業支援室に、熱い思いをご相談ください。

(注)Fun Fun Drive 投資事業有限責任組合

シードステージ・アーリーステージにある山口大学発ベンチャーや地域発スタートアップを主な投資対象とし、地域へのリスクマネー供給とハンズオン支援を積極的に行うことを目的として設立されたファンドです。山口大学の現役学生・教職員に加えて卒業生のスタートアップを投資対象とすることで、山口にゆかりのある起業家の成長を支援し新たな産業基盤の創出と知の集積を図ります。

### 【ベンチャー起業支援室】

#### ○ 活動内容

1. YMFGの専門家及び山口ティー・エル・オーとの協働による起業支援
2. 「志」イノベーション道場をハブとしたイベント開催
3. 起業のための知財相談
4. 起業に関する各種情報の発信



#### ○ 支援対象

1. 学生、教職員及び卒業生
2. 学びや専門を活かしたイノベーションが期待できるもの
  - ① 既存のサービスではなく(今あるものと同じではない)、
  - ② 革新的なアイデアや技術をもとにして(アイデア・技術で勝負)、

- ③ 新しいサービスやビジネスを展開するもの(新しい価値を創り出すもの)

#### ○ 相談方法

学生・教職員は、ベンチャー起業支援室ホームページの起業相談ヒアリングシートに必要な事項を入力してください。卒業生は、ホームページから様式をダウンロードし、必要事項を記載の上、メールで相談内容をお知らせください。ヒアリングシートの記載内容を確認しましたら、折り返しメールまたは電話で相談日時等について連絡します。

#### ○ 連絡先

ベンチャー起業支援室

TEL：0836-85-9961

E-mail：venture@yamaguchi-u.ac.jp



**HITACHI**  
Inspire the Next

**LOGISTEEDは、進化をやめない。**

物流を超えたさまざまな領域の  
協創パートナーとともにめざすのは、  
世界がまだ知らない未知のイノベーションだ。  
新たな市場を形成するプラットフォームと  
なるために動き始めた。  
LOGISTEEDの進化は、止まらない。

物流は新領域へ

**LOGISTEED**

www.hitachi-transportssystem.com  
株式会社 日立物流

未知に挑む。 **日立物流**

「鳳陽会」の活動が拡大発展できるように、ご協力下さい

【第一号案件】

投資先 株式会社Forema(代表取締役：小泉靖宜)  
広島県広島市榎町4-23-201  
https://www.forema.jp

Foremaは、従来、山間部において鳥獣被害防止のために駆除された野生狩猟肉がそのまま廃棄されている状況に着目し、狩猟肉をペットフード用のジビエ肉として販売する事業を行っており、経済活動と生態系保全の両立を図ることによる地域での新たな産業の創出に積極的に取り組んでいます。

\*山口大学は、飼い犬の健康や様々な疾患の病態に関する先端的研究を実施している共同獣医学部とForemaの間で、食用ジビエ肉の摂取に伴う犬の腸内細菌および健康状態に及ぼす影響に関する共同研究の実施を通じて、地域発スタートアップの事業成長を支援し、地域における知の集積を加速します。

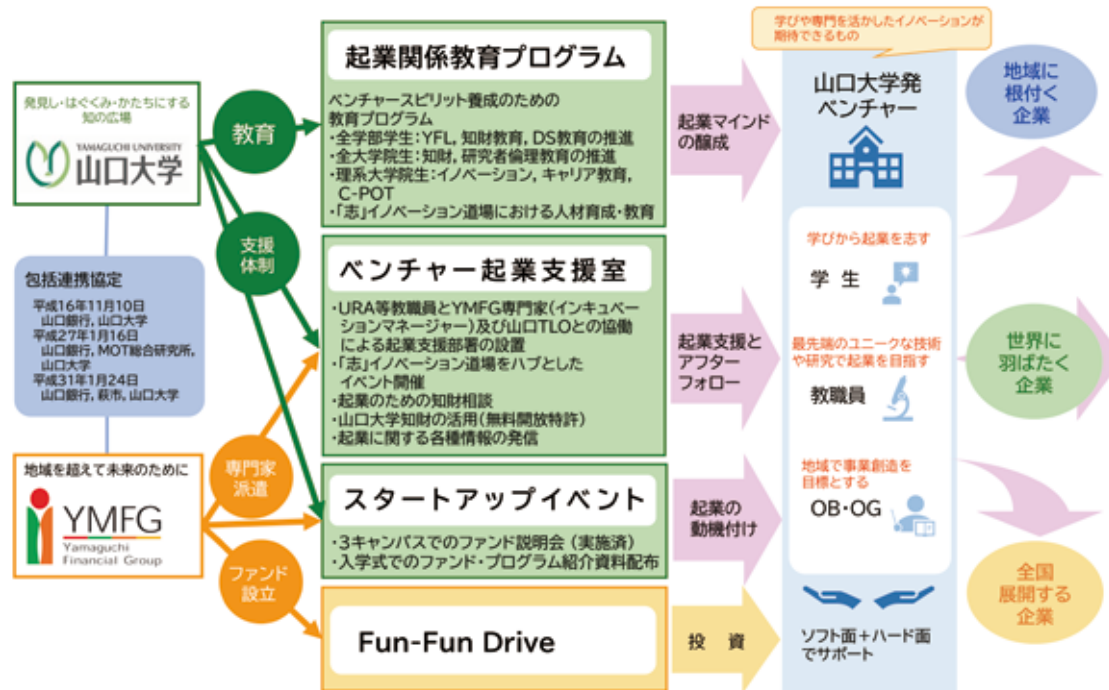
岡正朗学長から



国は知の創出拠点である大学にベンチャー企業創出・育成を求めています。国立大学を対象としたファンドは少なく地方大学では殆どありません。本学でアントレプレナー教育を受けた学生や研究を基に教員がベンチャー企業を考えても、資金面が大きな課題でした。この状況の中、山口フィナンシャルグループによる、本学を中心としたベンチャー起業を後押しする投資ファンド「Fun Fun Drive」の設立は画期的なことです。この機会を逃すことなくぜひ、積極的に活用していただき、コロナ禍を吹き飛ばしましょう!!

YMFG X 山口大学 : 山口大学学生等への共同起業支援

イノベーションの創出に向けた人材・知・資金の好循環システムの構築



大学13期(昭和40年卒)の皆様へ

卒業55周年記念同期会中止のお知らせ

本年、10月21日(水)に開催を予定しておりました上記会合は、現下の情勢に鑑み中止といたします。

幹事(淵上 洋一 他一同)

岡山支部総会中止のお知らせ

11月開催を予定しておりました支部総会は、現下の状況を鑑み中止させていただくこととなりました。何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

支部長 高見 正孝(学24)

本誌への広告のお願い

- ★1/3頁 ……40,000円
  - ★1/6頁 ……20,000円
  - ★1/9頁 ……15,000円
  - ★名刺版 ……5,000円
- 事務局では、皆様方からの広告掲載の申込みを募集しております。サイズ、料金は左記のとおりです。

北九州支部総会中止のお知らせ

11月12日(金)に延期の支部総会は、現下の状況を鑑み中止させていただくこととなりました。何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

支部長 日高 義隆(学21)

動 静

住所変更

★高商経専の部

★大学の部

Table with columns for member ID (e.g., 学29, 学26), name, and address. Includes members like 三村佳代子, 加峯秋弘, 阿部悦雄, etc.

個人情報保護のため、詳細は掲載しておりません。詳細をお知りになりたい方は当会までご連絡下さい。会員の方に限り、お知らせいたします。

住所不明者 会報が返送されま す。住所をご存知の方はお知らせ下さい。

★高商経専の部

★大学の部

Table with columns for member ID (e.g., 学67, 学66), name, and address. Includes members like 内野康希, 草野誠, 内野健登, etc.

「鳳陽」の配布について
Table with columns: 会 員, 1年間の配布回数, 会 費
年会費会員: 3回 (5月・9月・1月), 3,000円/年
賛助会員 (終身): 3回 (5月・9月・1月), 50,000円
贈呈者: 大学関係者、及び在学生、新卒業生には卒業後3年間
上記以外の会員には 年1回、5月号のみ を送付しています。
「年会費払込票」について
会報発送時期に会費を納入された方は、再度払込票が同封される場合があります。何卒ご了承下さい。(事務局)



ご寄贈

(敬称略)

左記の図書を鳳陽会へご寄贈戴きました。ありがとうございます。

一、成長するアジアにおける教育と文化交流 山口大学大学院 東アジア研究科

二、思想のひろば27 NPO法人 滝沢克己協会事務局 前田 保

三、有恒会130周年記念誌 大阪市立大学 有恒会

謹んでお悔み 申し上げます。



★高商経専の部

Table with names and amounts for the High School Business Administration Department. Includes names like 宇田 俊雄, 渡辺 仲夫, etc.

★大学の部

Table with names and amounts for the University Department. Includes names like 品川 博, 島 隆治, etc.

Main table listing names and amounts for various departments, including names like 学55 野浪 尚枝, 学54 山田 晃子, etc.

# ゼミだより

## 藤井ゼミ

### 40周年同窓会開催

世界で猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響は大きく、同窓会活動もままならない日が続いていますが、皆さんお変わりありませんか。

さて、こんな時期ですから、楽しかった昨年の同窓会のご報告です。

1979(昭和54)年、新進気鋭の藤井大司郎助教(当時の下に12名の学生が集い藤井ゼミは発足しました。毎回4〜5時間のゼミ活動は当たり前という藤井先生の熱心なご指導で皆鍛えられ、先生ご在任の32年の間に28期290名の卒業生が巣立っていきました。その間先生も教授にご昇格され、学部長としても経済学部改革に手腕を振るわれ、2013(平成25)年3月に退官されました。

2019(令和元)年はその藤井ゼミ発足から40年目にあたため、1期生を中心に、11月23日『藤井ゼミ



兵藤学部長による講義

40周年同窓会』を開催しました。合計27名のメンバーが、全国各地から参集しました。また鳳陽会事務局の石島事務局長のお手配により、大学経済学部の兵藤学部長のご協力をいただき、楽しくも有意義なものになりました。

当日午後、山口大学キャンパスに集合、石島事務局長のご案内により経済学部を見学、その後、商品資料館に移動して、兵藤学部長から『山口大学経済学部の今昔』と題して講義をしていただきました。『山口大学の伝統を守ることが変化へ対応していくことが大切』とのご発言には一同が

頷いていました。講義のあとは商品資料館をご案内いただき、我々卒業生も、現役生も、こんなに立派な施設があることをもつと誇るべきだと感じ入りました。

その後、17時30分に会場の太陽堂旅館に集合。講義に間に合わなかった人も合流して、藤井先生と奥様も到着されて同窓会開宴。

まずは藤井先生からのご挨拶。『ウチのゼミ生は、酒もよく飲んだけど勉強もよくやった』とお褒め(?)のお言葉をいただき、同窓会開宴。皆が持ち寄った大量の全国の銘酒もまわり、先生を中心に大きな輪ができ、『山口高等商業学校校歌』、『山都道遙歌』、『山口大学学生歌』などを高歌放吟し、大団円となりました。翌日はゴルフ組と、山口市内散策組とに分かれて各自が思い思いに山口の秋を堪能して解散しました。



藤井ゼミ1期生 羽根 彰(学29)

今回は幹事の力不足で、1期から16期生しか集合できませんでした。2020年はずっと輪を広げて10月に再会しようとなりましたが、近時の新型コロナウイルスの感染拡大の動きを見ますと今年の開催は難しく、中止にさせていただきます。来年(2021年)はこの感染症の動向を見ながら、また皆さんにご案内したいと思っています。

最後に、今回の同窓会開催にあたりご協力をいただきました兵藤学部長、石島事務局長にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

ともあれ、皆さん、感染症に負けず、また楽しい同窓会活動を再開しましょう!

**井澤金属は、金属の未来を見つめています。**

**【取扱品目】**  
 非鉄金属素材/アルミ・伸銅製品  
 特殊合金/鋼合金/精密鋳・鍛造品  
 クラッド/FRP/超硬・研削工具  
 粉末合金製品/電装パーツ  
 電子部品/金型  
 エレクトロニクス関連製品  
 工作機械/環境改善製品/建築材料

井澤金属は、あらゆる産業分野に  
 役立つ金属素材を提供する  
 非鉄金属の総合技術商社です。

金属の未来を、日本の未来に。

**井澤金属株式会社**  
 取締役会長 井澤 武尚 (学12)

本社 〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目13番10号  
 TEL (06) 6262-1231 FAX (06) 6262-1233  
 東京支店 名古屋支店 広島営業所 神戸営業所  
 URL: <http://www.izawa-metal.co.jp>

これまでも、そしてこれからも  
 「信頼」と「価値」を提供してまいります

**大中物産株式会社**  
 取締役会長 河窪 博史 (学24)

〒104-0061 東京都中央区銀座4-14-11 七十七銀座ビル  
 TEL: 03-5550-5555 FAX: 03-5550-5575  
 URL: <http://www.daichu.co.jp/> E-mail: [contact-us@daichu.co.jp](mailto:contact-us@daichu.co.jp)

近くて遠い山口大学生時代の思い出

上 森 義 美(学5)

大学5期上森義美と申します。昭和32年経済学部卒業、安宅産業、伊藤忠商事、定年後は尼崎市のIT企業に勤務し、2018年6月第一線から卒業しました。

昭和28年、大学入学1年目の年は鳳陽寮でお世話になりました。秋には寮祭が開かれ、目玉イベントは各自が工夫した仮装行列です。街の人からもさかんな応援がありました。丁度その年、戦後続いていた米配給制度が突然自由販売制に切り替えられ一般には大喜びでしたが、困ったのは配給制度のお蔭で米闇市場が成立し、そこで生活費を稼いでいた商人達です。西北寮で一緒だった富崎敏逸君(佐賀県庁で活躍された)と一緒に闇商人に仮装し、ギャグを込めて「米の販売自由化絶対反対」の横長の大きな天幕を担ぎ八木百貨店(現在の山口井筒屋)前の大通りを得々と練り歩いたものです。

2年の時、鳳陽寮を出て野田神社の奥にある神福寺(真言宗)に下宿しました。野田神社の近い所には日本赤十字社があり、その少し下の大殿大路という通りに下宿していたのが小池亮二君です。小池君(幸福銀行創業者の親戚筋にあたり、同銀行の関連企業で活躍された)は当時から大人の風格があり、ずば抜けた異才の持ち主でしたが、なんとなく私とは意見が合ったような感じがします。彼のところに西北寮で一緒だった森昂夫君(石川島播磨重工業で活躍された)、富崎君、本田嘉男君(九州電力で活躍された)新谷栄資君(宇部興産副社長を務められた)も加わり、仲間が6名となり、小池君の発案で卒業直前に6志会と命名し将来を誓い合ったものです。

3年目に入り、ESSクラブ部長を務めていた時、松陰先生研究の為、米国から来日されたアール先生が



山口大学ESSクラブ主催の英語劇「ハバナの月」

たのです。実は森君に誘われ、JR山口駅近くの古本屋の御主人が主宰されていた短歌の会に出席しそこに投稿した作品でした。短歌掲載のニュースを私に知らせたくれたのも朝日新聞社からではなく、記事を見た森君からでした。故人となった彼を今でも懐

大学で政治学の講師をされることになったので、好機とばかりESSクラブの顧問になっていただきました。大変気さくなお方で、ほぼ毎週ご自宅に数名をお招きいただき、奥様もご一緒に会話を楽しませていただきました。奥様はアフリカ系で御夫婦仲も大変新鮮に感じました。ご夫妻のおすすめで英語劇「ハバナの月」を大学記念祭に上演したことがあり、その記念写真を添付します。舞台装置、衣装、振り付けは演劇部に協力していただきました。学生時代はアルバイト・アルバイトの毎日で、農家のお手伝いにも度々出かけました。当時の世相は国会が荒れ、学生運動も盛んでした。4年生となり就職先が決まった年の暮れ、昭和31年12月31日朝日新聞社天声人語欄に『今年一年を短歌で振り返ろう』とニュース関連の短歌が各月ごとに12首掲載されました。全く思いもかけないことに、その中の一つに私の作品が掲載されていたのです。

かしく思い出します。

暴力国会  
ひとしきり  
食後の話題となり  
汗ひけば  
又麦刈りに出る

(あとがき)

私は、昨年8月伊藤忠商事ボンベイ駐在時代一緒だった仲間と共著で「5人の商社マン海外奮闘記」を

出版しました。昭和から平成時代、色々な国の第一線で奮闘した各自の体験をそのまま文章にしたもので、若い人たちへ何かの参考になればとの思いからです。



投稿歓迎

当会では会員皆さまからのご投稿を心よりお待ちしております。同窓会、ゼミ、クラブのOB・OG会、学生時代の思い出、催しのご案内等何でも結構です。投稿はメール、郵便等で受付いたします。詳しくは事務局までお問い合わせください。

- ★5月15日号……(3月15日まで)
- ★9月15日号……(7月20日まで)
- ★1月15日号……(11月20日まで)

- ▽随感随想= 1000字程度
- ▽ひろば= 600字程度
- ▽本の紹介= 300字程度
- ▽支部・同期会だより= 600字程度

詩、短歌、俳句、写真など、皆さまの作品も大歓迎です。

「手負いの虎」  
出版に寄せて

和泉 清(経専44)

このほどアメリカ人によって書かれた本「Wounded Tiger」の日本語版「手負いの虎」が発行された。

私はたまたま、知人のアメリカ人牧師の依頼を受け、一部ながらこの本の翻訳を手伝った。新刊書の「前書き」で、関わった4人の中の一人として感謝の言葉を戴いた。

この本は、今から75年前、真珠湾攻撃成功を伝える「トラトラ」暗号を打電した飛行隊総指揮官、淵田美津雄と、日本本土への報復空襲を志願した米軍人ジェイコブ・デシヤザーが、過去を悔いつつ憎しみを越えて、共にキリスト教伝道に余生を捧げたとするドキュメンタリーである。

淵田はキリスト信仰によって自分が救われると信じ、全人類が「汝の敵を愛せよ」という考えになれば、戦争はなくなると考えた。そうしてキリスト教の伝道士となり、以後15年にわたる日本、米国、ヨーロッパ

を回る愛と平和のための講演行脚を続けた。

一方、デシヤザー元軍曹は、昭和17年4月、ドーリットル中佐指揮の日本爆撃行に参加したが、帰路乗機が不運にも中国内の日本占領地区に不時着したため捕虜として日本軍の激しい虐待を受けた。この空襲は日本近海まで侵入した空母ホーネットから飛び立ったB25、16機により行われたものである。彼は、服役中看守に特に依頼して入手した聖書を熟読し、「隣人を愛せ」と

の主の教えに心服するに至った。戦後、自由の身になるや直ちに昭和23年、手記「私は日本の捕虜だった」を携え宣教師として来日し、伝道活動に献身した。「父よ、彼らをお赦しください。彼らは自分が何をしているのか知らないのです。」との聖書の句を文字通り地で行ったキリスト者であった。

昭和25年、この二人を招いた大阪中央公会堂での伝道集会は超満員の聴衆を魅了したとのことである。「無知が無理解を生み、無理解は憎悪を生み、憎悪が争いを生む。」との淵田の言葉は大変感慨深いものであった。

戦前、少なからずの識者が「無知、無理解」ではなかったにも拘わらず、大勢に屈して開戦を容認したのは誠に残念であった。

遅きに失したとはいえ、総指揮官として350機のハワイ攻撃隊を率いた旧海軍中佐伝道士の贖罪の意と共に戦争の愚を広く伝えたライフワークには敬意を表したい。淵田の子息、子女がアメリカに学びそれぞれがアメリカ国籍の伴侶を得て、日米親善に寄与していることは微笑ましいことである。

なお、デシヤザーと共に来日したマーガレット・コペルさんの両親はフィリピンで宣教活動に従事していたが、スパイ容疑で日本軍に捕えられ処刑されたにも拘わらず、彼女も同様に恩讐を超えて米軍に救われた日本軍捕虜の世話をしたとのことである。



「手負いの虎」表紙

本号の内容

新常態へ向けて

経済学部これまで

- の取組 …… 1〜3
- 通常総会報告 …… 3
- 学園だより …… 4〜7
- 動静 …… 8〜9
- ゼミだより …… 10
- 近くて遠い

山口大学生時代の思い出 …… 11  
「手負いの虎」出版  
に寄せて …… 12

事務局から

鳳陽会事務局では、現在ホームページのリニューアル作業を進めています。

今回のリニューアルでは、会員の皆様により使いやすい、分かりやすくなるよう、デザインと内容を全面的に見直しました。

ホームページでは、当会の組織、事業の内容はもちろんですが、通常総会・懇親会のご案内、各支部の活動紹介、同期会の情報なども随時お知らせします。

会員の皆様には、より身近な情報をお届けできるよう、準備しております。いましばらくお待ちください。

掲載料・利用料 無料

やまぐちの飲食店を応援!

**やまぐち★delico**

やまぐち delico 検索

山口フィナンシャルグループが運営する  
山口県のお持ち帰りグルメのポータルサイトです。



山口フィナンシャルグループ